

山口県建設技術センター

この情報誌は土木技術に関する様々な情報を山口県及び市町の土木技術職員の皆様方に提供するものです。

情報誌 Vol. 69

発行：一般財団法人 山口県建設技術センター 発行日：令和3年3月26日



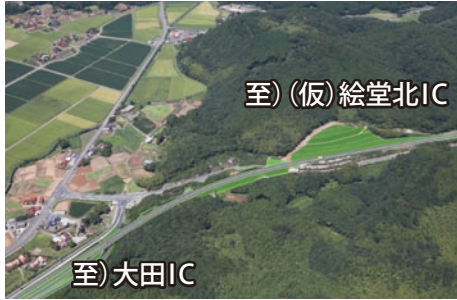
東の山トンネル (令和2年11月16日撮影)

一般国道490号絵堂萩道路改築事業 (美祢工区) について
被災地派遣職員レポート
年度別研修実施計画の策定について
令和3年度の研修計画について
研修における新型コロナウイルス感染症予防対策について

一般国道490号絵堂萩道路改築事業(美祢工区)について

令和2年3月19日に発行した建設技術センター情報誌vol.67で、地域高規格道路小郡萩道路の一部であり、現在整備を進めている一般国道490号絵堂萩道路改築事業(延長約15km(現道活用区間約6kmを含む))の萩工区について特集を組んでおりましたが、このたびは、同事業の美祢工区について、宇部土木建築事務所美祢支所にご協力をいただき、現況報告等の特集を組むことができました。

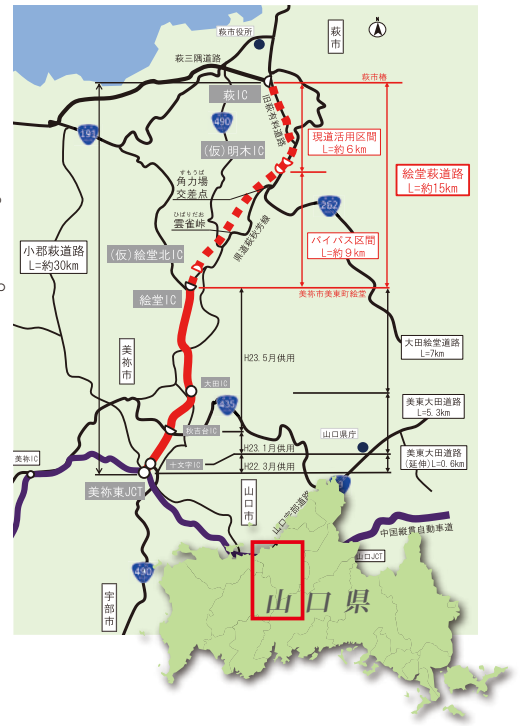
当センターでは、一般国道490号絵堂萩道路改築事業の各橋梁の下部工・上部工やトンネル工事の設計図書作成業務に携わり支援させていただいております。



絵堂IC付近完成予想図



絵堂IC付近完成予想図



東の山トンネル工事の安全祈願祭が執り行われました

令和2年11月16日、一般国道490号道路改良(東の山トンネル)工事において、施工期間中の無事故無災害を祈って、安全祈願祭が執り行われました。



けしょうぎ 化粧木とは

坑口上部に飾られてある反り返った木を化粧木といいます。形は伊勢神宮御本殿の屋根の飾り木を模倣してあります。

その意とする所は、山の神様は女性であり、トンネル工事ではそこに傷をつけ、穴を掘ることから、女神様を怒らせないように、鎮める意味で、この化粧木を飾り、工事の安全を祈願したと言われていました。

また、化粧木の右(根元部)には天照大神、左(木先部)にはウガヤフキアエズの命(神武天皇の父親)を祭るとされています。



「山神様」はとてもヤキモチ焼き？

トンネル工事のジンクスとして、「山神様」に関わる言い伝えをひとつご紹介いたします。

神が宿るとされる山は全国にたくさんありますが、山神様は女性であるという説が圧倒的に多く語られています。諸説ありますが、山神様はとてもヤキモチ焼き。女性が山に立ち入るとヤキモチを焼き、不幸をもたらすという説もあるため、トンネル工事の際は女人禁制とも言われてきました。

しかし近年では、土木技術が進歩し安全に工事ができるようになり、老若男女の区別なく坑内に立ち入る事ができるようになりました。

※言い伝えは諸説あります。

一般国道490号絵堂萩道路改築事業(美祢工区)について

【事業概要】

事業名 一般国道490号絵堂萩道路改築事業
 延長 約15km バイパス区間約9km
 現道活用区間約6km
 起点 美祢市美東町絵堂
 終点 萩市椿東

設計速度 80km/h
 車線数 2車線
 標準幅員 13.5m
 計画交通量 約12,000台/日
 (2030年の予測値)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30情模、第869号)

工事の進捗状況

松原地区

銭屋地区

二反田地区



被災地派遣職員レポート

平成30年7月に西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった「平成30年7月豪雨（西日本豪雨）」により、広島県では土石流、かけ崩れや河川の氾濫が多発し、住宅地や道路、橋りょう、河川などに甚大な被害を生じました。被災直後から全国の自治体職員やボランティア等による復旧・復興支援が行われており、山口県内からも多くの方が支援業務等に参加されたことと思います。

このたび、広島県西部建設事務所呉支所にて公共土木施設の災害復旧支援業務（地方自治法に基づく中長期派遣）に従事されている、山口県道路整備課の平後園技師のご協力により、被災地派遣職員レポートを掲載することができました。

派遣職員の役割や仕事の内容等について知っていただき、今後の業務に少しでも役立てて頂ければ幸いです。

質問1 自己紹介をお願いします

山口県土木建築部道路整備課の平後園翔一郎です。背が高いことだけが取柄の入庁12年目の30歳です。趣味はバレーボール・ゴルフですが、体を動かすことはそこまで好きではありません…。



質問2 ご自身の派遣期間や他の自治体職員など、派遣体制を教えてください

私は、広島県呉市に、令和2年4月から令和3年3月までの1年間派遣されました。工務課には派遣職員を含めて15名おり、災害関連緊急対策チームとして災害に特化した課もあります。沖縄県や島根県などからも派遣職員が配置されています。

質問3 派遣の主な役割(仕事)は？

派遣職員の主な仕事は、設計書の作成と現場監督業務です。広島県では平成30年7月豪雨において、災害件数が2,550件、査定決定額約630億円という規模の被災があり、呉支所では災害件数222件、査定決定額約100億円の被災額になっています。現場監督業務に伴い、地元調整や関係機関（NTT・中電等）との調整を行っており、スムーズな工事の進捗を目指しています。

質問4 着任後の感想は？

令和元年10月に1か月間の災害派遣で呉支所に来ており、その際に関わった方の多くが残留されていたため、職場内での交流は、ほぼほぼ問題なく、人見知りの自分にとっては非常に馴染みやすい環境でした。また、その頃から続いている工事の現場代理人の方に「また戻ってきた!」などと笑い話を交えながら優しく出迎えていただけたため、やりやすい環境で仕事ことができました。

質問5 休日はどのように過ごされていましたか？

車を持って行かなかったため、移動は徒歩やバスや電車を利用しているのですが、新型コロナの流行により、公共交通機関が使いにくいこともあって、家でゴロゴロしていることが多かったです。大和ミュージアムなど行こうと思いましたが、結局行けてはいませんが、近くにある潜水艦は外から見ただけでも圧巻です。



大和ミュージアムそばの潜水艦

質問6 最後に、派遣期間を通しての感想をお聞かせください

今回の広島災害派遣のタイミングが、被災後3年目ということもあり、一人あたりに配分される工事の件数としては比較的少ないものでした。ですが、担当した工事のほとんどで重変協議が必要となり、その資料作成が一番大変でした。重変協議は道路整備課の際に本省協議に行ったこともあり、経験としては普通の方より多めと自負しており、この度の仕事にも生かせたと思います。ただ自分だけの判断では難しいことも多く、山口県の方へ電話で相談させていただくことも多々ありましたが、呉支所は土木技術職員が少ないうえに災害の経験が少ない事務所でしたので、災害経験豊富な私は大いに活躍できたと自負しています。これも、これまでの県庁生活で培った知識と経験があったからこそだと思います。災害に特化した仕事であり、県外の知らない土地で仕事をするには不安もありますが、災害派遣は少なからず自分の糧になることだと思います。貴重な経験ができる仕事ですので、若手職員の方も機会があれば、ぜひ手を挙げてみて経験してほしいです。

年度別研修実施計画の策定について

年度当初に（一財）山口県建設技術センターが実施した「研修に関するアンケート」の結果や、平成27年度～令和2年度に開催した各課程の参加人数実績等を踏まえ、令和3年度から6年間にわたる新たな年度別研修実施計画を策定しました。今後6年間の研修は、基本的にこの計画に沿って実施します。年度別研修実施計画の基本的な方向性や概要についてご紹介します。

1 研修体系

センター研修に関するアンケート結果及び研修終了時に得られたアンケート結果（平成27年度から令和元年度までの総合評価結果）より、現状の研修区分は概ね評価されていたことから、職務基礎研修、実務能力研修、専門能力研修及び管理能力研修の研修区分は現状どおりとします。

職務基礎研修

県及び市町の新規採用職員等が、その職務を遂行するために必要な技術に関する基礎的知識を習得するための研修

実務能力研修

実務経験が2年～5年程度の職員が、複雑、多様化する土木建設技術に的確に対応するために必要な実務能力を習得するための研修

専門能力研修

実務経験が5年～10年程度の職員が、最新の技術革新及び新工法等に対応するために必要な専門能力を習得するための研修

管理能力研修

実務経験が20年程度の職員が、土木行政の展開にあたり必要とされる組織の活性化等を図るため、より高度な管理能力を習得するための研修

2 研修サイクル

研修サイクルは、研修の重要度や参加実績を踏まえ、「毎年実施するもの」と「2年に1回実施するもの」を組み合わせ、2年で全ての研修が一巡するサイクルとします。

そして、この2年のサイクル毎に小規模な見直しを行いつつ、これを3回実施して次の研修実施計画に繋げることにします。

3 部分受講の拡大

より研修に参加しやすくなるよう職務基礎研修の4課程、実務能力研修の施工管理実務（後期）及び専門能力研修の現場研修課程以外の研修課程で、部分受講を可能とします。

2日間の研修であれば、いずれかの1日のみ参加でも構いませんし、受講したい1コマの講義だけの参加も可能です。

4 主な新設研修課程

年度別研修実施計画策定に際して、新たな研修課程の創設や従来の研修課程の再編を行いました。

新設した研修課程のうち主なものについてご紹介します。

New!

建築工事監理

当研修は、建築職員を対象とした初めての研修課程で、建築工事監理の流れや重点監理項目、公共建築工事標準仕様書、公共建築工事の完成検査等について、建築職員として職務上必要な基礎知識を習得することを目的として新設するものです。

New!

土木事業 マネジメント

従来の研修課程であった「建設マネジメント」と「課長級技術」の2つを統合したもので、若手職員への指導・監督を行う職員等を対象とし、土木行政を取り巻く情勢についての理解や組織マネジメント能力の向上を図ることを目的として新設するものです。

5 その他

当センターの研修は集合研修を基本としていますが、新型コロナ時代における研修スタイルを充実させるため、センターではWeb研修ができる環境を整備することとしており、集合研修ができない場合の代替手段の一つとしてWeb研修を活用していく予定です。



令和3年度～令和8年度 年度別研修実施計画

研修区分	研修課程名	研修内容	研修日数	R03	R04	R05	R06	R07	R08
職務基礎研修 (5課程)	新任者(前期)	・土木技術職員の心構え ・設計書の構成と歩掛表の見方(工事) ・設計書の作成演習(工事) ・工事現場実習 ・土木事業と工事監督	4	○	○	○	○	○	○
	新任者(後期)	・業務成績評定制 度 ・地質調査について ・施工管理と工事検査 ・設計書の構成と歩掛表の見方(業務委託) ・設計書の作成演習(業務委託)	3	○	○	○	○	○	○
	災害復旧基礎	・災害復旧事務の流れ ・災害復旧事業の計画と演習 ・災害現場測量実習 ・査定設計書作成演習 ・査定の現地演習	3	○	○	○	○	○	○
	積算システム	・土木積算システム演習 ・設計書の作成演習	1	○	○	○	○	○	○
	CAD	・電子データ活用の取組 ・CADの概要 ・CADの操作演習(初級、中級)	2	○	○	○	○	○	○
実務能力研修 (17課程)	設計積算	・積算概論 ・設計積算の留意点 ・土木積算演習 ・小構造物設計演習 ・積算書作成ミス想定事例	②	○	○	○	○	○	○
	道路実務	・道路法 ・道路事業の流れ ・道路構造令等の解説 ・道路事業の実施 ・縦横断設計演習	②	○	○	○	○	○	○
	道路維持管理実務	・道路維持管理一般 ・重要構造物の維持管理 ・道路法概論と道路の管理	①	○	○	○	○	○	○
	河川実務	・河川事業一般 ・河川管理施設等構造令の解説 ・河川計画演習 ・河川施設維持管理 ・河川環境 ・ソフト対策 ・ダム一般 ・河川に関するトピックス	②	○	○	○	○	○	○
	都市計画実務	・都市計画の概要 ・景観行政 ・都市計画法関連 ・事例紹介 ・都市計画事業(街路、公園、市街地開発)	②	○	○	○	○	○	○
	下水道実務	・下水道事業の概要 ・下水道の基本計画 ・下水道管渠の設計 ・下水道の維持管理 ・各種管渠工法 ・工法演習	②	○	○	○	○	○	○
	砂防実務	・砂防事業の概要 ・砂防の技術基準と設計演習 ・急傾斜地対策の技術基準と設計演習 ・地すべり対策の技術基準 ・砂防等区域指定と管理 ・土砂災害防止法	②	○	○	○	○	○	○
	港湾実務	・港湾海岸事業の概要 ・事業執行の留意点 ・津波対策 ・港湾関係基本法令 ・港湾海岸施設の維持管理 ・港湾関係災害復旧事業 ・設計演習	②	○	○	○	○	○	○
	施工管理実務(前期)	・施工計画 ・品質管理 ・施工管理 ・写真管理 ・工事現場の安全確保 ・工事監督の留意事項 ・工事関係書類の作成マニュアル ・現場実習	②	○	○	○	○	○	○
	施工管理実務(後期)①②		各1	○	○	○	○	○	○
	予算・法令実務	・土木予算編成のしくみ ・契約、決算事務の流れ ・社会資本整備総合交付金の制度 ・土木関係法令の基礎 ・建設業法 ・廃棄物処理法 ・会計検査の動向 ・土地収用法概略	②	○	○	○	○	○	○
	測量・土質地質調査	・測量事務の流れ ・測量技術の紹介 ・土質・地質調査の種類と方法 ・土質、地質調査の計画、調査方法 ・土質地質調査の事例紹介と調査計画演習	①	○	○	○	○	○	○
	検査実務	・検査(工事・業務委託) ・成績評定制 度(工事・業務委託) ・模擬工事検査	①	○	○	○	○	○	○
	住民合意	・プレゼンテーション(概論、基礎) ・プレゼンテーション演習	①	○	○	○	○	○	○
	災害復旧工法	・河川・海岸災害復旧工法 ・道路・橋梁災害復旧工法 ・改良復旧工法 ・復旧工法演習	②	○	○	○	○	○	○
	建築工事監理	・公共建築とは ・公共建築工事の発注者の役割等 ・公共建築工事標準仕様書 ・公共建築工事監理指針等及び工事監理 ・公共建築工事の完成検査等	①	○	○	○	○	○	○
	転勤対象者技術	・設計・契約変更ガイドライン ・建設業法に基づく適正な施工体制 ・入札・契約制度の改正 ・設計書作成の留意点 ・総合評価入札方式	①	○	○	○	○	○	○
専門能力研修 (9課程)	道路計画	・道路計画の概論 ・将来交通量の推計 ・費用便益分析 ・道路概略設計演習	②	○	○	○	○	○	○
	擁壁設計	・擁壁工設計概論 ・擁壁工設計の基本 ・擁壁工設計演習	②	○	○	○	○	○	○
	道路施設設計	・舗装設計 ・舗装設計演習 ・歩道の構造とバリアフリー ・自転車通行環境整備 ・交通事故対策の立案と設計 ・道路附属施設的设计演習	②	○	○	○	○	○	
	斜面对策	・法面对策工の選定 ・安定解析の種類と選択 ・アンカーの設計施工 ・法面工の設計 ・緑化工法	②	○	○	○	○	○	
	仮設工設計	・仮設工設計概論 ・仮設工の設計及び演習 ・土留工、仮締切工の設計	②	○	○	○	○	○	
	交差点設計	・交差点設計マニュアル解説 ・交差点設計演習	②	○	○	○	○	○	
	地盤対策	・地盤改良工法の概要 ・地盤改良設計 ・軟弱地盤の概要 ・設計演習 ・杭基礎の種類及び選定 ・杭の安定計算 ・耐震設計	②	○	○	○	○	○	
	現場研修	・現場施工法 ・現場管理の実際 ・現場施工事例 ・事例研究	1	○	○	○	○	○	
新技術・新工法	・新技術新工法の紹介 ・建設分野の最新動向 ・現場施工事例	②	○	○	○	○	○		
管理能力研修 (3課程)	積算技術	・設計・契約変更等ガイドライン ・設計書作成の留意点とヒヤリ・ハット事例	①	○	○	○	○	○	
	検査技術	・検査制度 ・成績評定制 度(工事・業務) ・模擬工事検査	②	○	○	○	○	○	
	土木事業マネジメント	・建設業法等の土木関係法令 ・公共工事の品質確保 ・防災危機管理 ・会計検査 ・公共工事の労働災害防止	①	○	○	○	○	○	

研修日数欄について、数字が○数字のものは部分受講も可能です。

当センターでは、年間20講座程度の研修を実施してきました。平成7年度以来、受講生は延べ19,700人を突破したところですが、近年は受講者数が減少傾向であり、特に令和2年度の研修に限ると、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受講生は延べ520人と例年と比べ非常に少なくなりました。

今後とも皆様のニーズに対応した有意義で充実した研修を開催するよう努めてまいります。より多くの方が受講され、発注者としての技術力の向上に役立てていただきますようお願いいたします。

令和3年度の研修計画について

令和3年度の研修は、新たな年度別研修実施計画の初年度になります。既存研修課程の拡充や新たな研修課程の創設を図り、より一層研修内容を充実させておりますので、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

なお、令和2年度の研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間計画を見直し、規模を縮小して実施してきましたが、令和3年度も新型コロナの影響により、年間計画を見直す場合がありますので、最新情報についてはセンターHPや各研修の案内で確認をお願いします。

令和3年度 研修計画総括表

研修区分	研修課程名	研修内容	研修対象者
職務基礎研修	新任者(前期)	・土木技術職員の心構え ・設計書の構成と歩掛表の見方 ・設計書の作成演習 ・工事現場実習	新規採用 土木職員等
	新任者(後期)	・設計書の構成と歩掛表の見方(業務委託) ・設計書の作成演習(業務委託) ・工事検査について ・地質調査について	
	災害復旧基礎	・災害復旧事務の流れ ・災害復旧事業の計画と演習 ・災害現場測量実習 ・査定設計書作成演習 ・査定の実地演習	
	積算システム	・土木積算システム演習 ・設計書の作成演習	
	CAD	・電子データ活用の取組 ・CADの概要 ・CADの操作演習(初級、中級)	
実務能力研修	設計積算	・積算概論 ・設計積算の留意点 ・土木積算演習 ・小構造物設計演習 ・積算書作成ミス想定事例	経験5年程度
	道路維持管理実務	・道路維持管理一般 ・重要構造物の維持管理 ・道路法概論と道路の管理	
	河川実務	・河川事業一般 ・河川管理施設等構造令の解説 ・河川計画演習 ・河川施設維持管理 ・河川環境 ・ソフト対策 ・ダム一般 ・河川に関するトピックス	
	都市計画実務	・都市計画の概要 ・景観行政 ・都市計画法関連 ・事例紹介 ・都市計画事業(街路、公園、市街地開発)	
	砂防実務	・砂防事業の概要 ・砂防の技術基準と設計演習 ・急傾斜地対策の技術基準と設計演習 ・地すべり対策の技術基準 ・砂防等区域指定と管理 ・土砂災害防止法	
	施工管理実務(前期)	・施工計画 ・品質管理 ・施工管理 ・写真管理 ・工事現場の安全確保 ・工事監督の留意事項	
	施工管理実務(後期)①②	・工事関係書類の作成マニュアル ・現場実習	
	予算・法令実務	・土木予算編成のしくみ ・契約、決算事務の流れ ・社会資本整備総合交付金の制度 ・土木関係法令の基礎 ・建設業法 ・廃棄物処理法 ・会計検査の動向 ・土取用法概略	
	住民合意	・プレゼンテーション(概論、基礎) ・プレゼンテーション演習	
	災害復旧工法	・河川・海岸災害復旧工法 ・道路・橋梁災害復旧工法 ・改良復旧工法 ・復旧工法演習	
転勤対象者技術	・設計・契約変更ガイドライン ・建設業法に基づく適正な施工体制 ・入札・契約制度の改正 ・設計書作成の留意点 ・総合評価入札方式	県の土木職員等	
専門能力研修	道路計画	・道路計画の概論 ・将来交通量の推計 ・費用便益分析 ・道路概略設計演習	経験10年程度
	擁壁設計	・擁壁工設計概論 ・擁壁工設計の基本 ・擁壁工設計演習	
	交差点設計	・交差点設計マニュアル解説 ・交差点設計演習	
	現場研修	・現場施工法 ・現場管理の実際 ・現場施工事例 ・事例研究	
	新技術・新工法	・i-constructionの取組み ・3次元測量・設計 ・ICT工の監督・検査要領	
管理能力研修	検査技術	・検査制度 ・成績評定制(工事・業務) ・模擬工事検査	経験20年程度
公益目的事業	橋梁設計・維持管理研修	・橋梁長寿命化計画 ・橋梁構造の基礎知識 ・橋梁補修・補強設計 ・橋梁点検実習	県・市町の土木職員等

*研修対象者の経験年数については目安であり、受講資格を限定するものではありません。

*橋梁設計・維持管理研修は、公益目的事業として実施しています。

令和3年度 研修実施日程表

※研修会場：セミナーパークほか

月	研修項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
4	(実務) 転勤対象者技術			土	日		●				土	日						土	日						土	日											
	(基礎) 新任者(前期)(1回目)			土	日						土	日						土	日			●	●			土	日										
	(基礎) 新任者(前期)(2回目)			土	日						土	日		●	●			土	日					土	日			●	●								
5	(基礎) 積算システム	土	日																																		
	(実務) 設計積算			土	日																																
	(基礎) 災害復旧基礎			土	日																																
6	(基礎) 災害復旧基礎			土	日																																
	(基礎) CAD			土	日																																
	(実務) 砂防実務			土	日																																
7	(専門) 擁壁設計			土	日																																
	(専門) 擁壁設計			土	日																																
	(実務) 施工管理実務[前期]			土	日																																
8	(実務) 災害復旧工法			土	日																																
	(実務) 河川実務			土	日																																
	(専門) 新技術・新工法(ICT活用)			土	日																																
9	(実務) 道路維持管理実務			土	日																																
	(実務) 住民合意			土	日																																
	(実務) 予算法令実務			土	日																																
10	(専門) 道路計画			土	日																																
	(実務) 都市計画実務			土	日																																
	(実務) 施工管理実務[後期①]			土	日																																
11	(実務) 施工管理実務[後期②]			土	日																																
	(公益) 橋梁設計・維持管理			土	日																																
	(管理) 検査技術			土	日																																
12	(基礎) 新任者(後期)			土	日																																
	(専門) 交差点設計			土	日																																
	(専門) 現場研修			土	日																																

※日程は、変更になることがあります。(最新日程はセンターHPをご覧ください) 日付のマークに()が付いている研修は、センター独自研修及び公益目的事業研修です。

研修における新型コロナウイルス感染症予防対策について

当センターでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と受講生が安心して研修に参加できるよう、研修開催時に下記のとおり対策に取り組んできました。

1. 人と人との接触を減らす。

収容人数の半分以下の人数で実施し、1机に1人掛けとし、十分な間隔を確保。

2. 換気の充実

概ね1時間ごとに窓・ドアを開け、換気を実施。

3. 消毒液の設置

研修室出入口に消毒液を設置。また、研修初日の朝、研修室の机椅子等の除菌を実施。

4. 検温の実施

朝と昼の入室時に非接触型体温計で体温を測定。

(37.5℃以上の発熱がある方は、受講不可。)

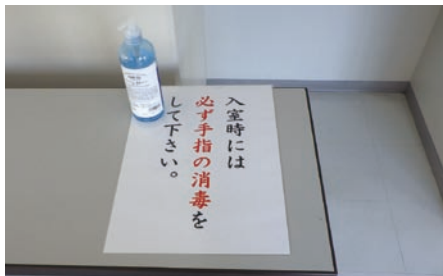
受講生の皆様方には感染症予防対策にご協力いただき、ありがとうございました。来年度以降も、感染状況等に応じて同様の対策を実施していくとともに、研修内容に応じWeb研修の導入も検討しています。今後も多くの方にセンター研修に参加していただければと思います。



研修室の除菌



研修室の除菌



消毒液の設置



検温状況



昨年度までの研修状況



今年度の研修状況(座席間隔あり)

編集後記

今年度も残すところあと僅かとなりましたが、今年度は何と言ってもコロナ一色の一年だったかと思えます。生活様式が変わり、外出の自粛、イベントも中止が相次ぐなど、窮屈な生活を強いられています。そんなコロナ禍の影響、皆さんの働き方も大きく変わったのではないのでしょうか。職場に出勤するのが当たり前であった状況から、テレワーク化が一気に進み、数ヶ月で私たちの働き方は10年先に進んだとさえ言われています。

当センターも本誌で触れていますが、Web研修やWeb会議などを導入するなど、時代の流れやニーズに沿って柔軟に対応していく必要があると考えていますので、是非、皆様方からもセンターに対するご要望やご意見がありましたら、お知らせいただければ幸いです。

【Eメール】 info@yama-ctc.or.jp

【ホームページ】 <https://www.yama-ctc.or.jp>

〒753-0073 山口市春日町8-3春日山庁舎
一般財団法人 山口県建設技術センター
情報誌編集委員会 宛

【TEL】 083-920-1233

【FAX】 083-920-1288